

大津 OTSU びわ湖大津
SDGs 教育旅行プログラム

教員向け 指導解説書

本紙は、先生方に向けたびわ湖大津SDGs教育旅行プログラム
「SDGs探究学習 事前事後学習ワークシート」活用方法の解説資料です。

監修 笹谷 秀光 千葉商科大学教授

- 同大学サステナビリティ研究所長
- 博士(政策研究) ●ESG/SDGsコンサルタント



びわ湖大津SDGs教育旅行プログラムとは

琵琶湖や比叡山などの恵まれた自然環境と歴史文化にあふれるまち滋賀県大津市(びわ湖大津)で体験する活動を
現地学習と位置づけ、学校での事前事後学習を組み合わせ、SDGsの視点を取り入れた教育旅行向けの探究学習です。

ワークシートの構成

ワークシートは、探究型な学習の過程を踏まえ、
「事前学習」「現地学習」「事後学習」で構成されています。

事前学習

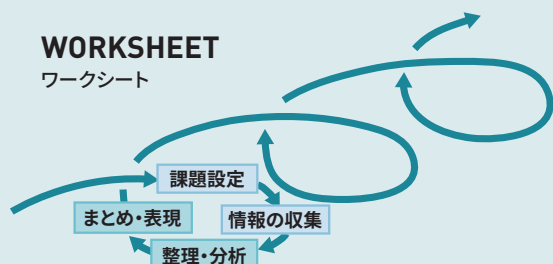
- 1 課題設定
- 2 情報の収集

現地学習

事後学習

- 3 整理・分析
- 4 まとめ・表現

WORKSHEET ワークシート



- 日常生活や社会に目を向け、児童・生徒が自ら課題を設定する。
- 探究的な学習の過程を経由する。
- 自らの考えや課題が新たに更新され、探究的な学習の過程が繰り返される。

参考：文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」

事前学習

訪問先(びわ湖大津)について調べるだけでなく、SDGsの視点で、自分たちが住む地域が抱える様々な課題についても考え、びわ湖大津にも似たような課題が存在しないか、似たような課題が存在するのであれば、現地ではどのような課題解決のための取組を実施しているのかまで調べてみることで、より深い学びにつながります。

現地学習

びわ湖大津の自然歴史を活かした体験学習を楽しむだけでなく、現地の方との対話を通し、現地での課題や取組について学ぶ機会とします。

事後学習

それまでの学習と現地の体験を通して気づいたことや発見、その課題について自分自身の意見などをまとめ、地域の課題解決のためのSDGsアクションに自分がどう関わるかを発表します。

自分の考えを他者に伝える学習活動を行うことが、自身の経験や知識と、整理・分析された情報がつながり、一人ひとりの考えが明らかになったり、課題が鮮明になったり、新たな課題が生まれやすくなります。

これらの学習プロセスを児童・生徒が主体的に行うことで、表面的ではない深まりのある探究的な学習を実現することにつながります。

6つの学習テーマ



びわ湖大津で体験するウォータースポーツ、伝統産業、自然体験などの現地活動を、自然・歴史・環境・文化・産業・経済、6つの学習テーマに分類しています。

自分たちが体験する現地活動がどんな学びにつながるのかをわかりやすくイメージできます。

各テーマは、SDGsの視点での課題とも関連性があるため、探究型な学習の課題設定のヒントにもなります。

関連するSDGsゴールの設定



各プログラムがSDGs17の目標の何番に関連するのを示しています。

日々のSDGs学習につなげやすく、はじめてSDGsを学ぶ児童・生徒向けとしてもわかりやすい教材となっています。

滋賀県大津市は、日本最大で最古の湖「琵琶湖」や山々を抱え、昔から人と自然が共生しながら暮らしを営んできた地域です。

近江商人の「三方よし」の精神をはじめとする滋賀県に息づく、経済、社会、環境の調和を目指す考え方は、SDGsに通じるものがあり、現在、滋賀県各地では、SDGs達成に向けた様々な取り組みが進められています。

びわ湖大津での体験や事前事後の学習が、今後、児童・生徒自身が取り組んでいく「自分自身のSDGsアクションプラン」を考える探究の機会に活用してください。

滋賀県独自の取り組み

琵琶湖と共に生きてきた滋賀県には、SDGs学習のヒントとなる独自の取組があります。琵琶湖版SDGsである「マザーレイクゴールズ(MLGs)」と、世界農業遺産に認定された「琵琶湖システム」は、滋賀県ならではの取組で、現地での具体的な取組事例を知るわかりやすい教材となります。

より深いSDGs探究学習を進めるうえで、事前学習等で参考にされてみてはいかがでしょうか。

1 琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ(MLGs)」

「マザーレイクゴールズ(MLGs)」とは

SDGsの視点から見ると、琵琶湖を通じてSDGsをアクションまで落とし込む仕組みがMLGsであり、MLGsの取り組みはSDGsの達成に貢献するものと言えます。



MLGsからの視点で見ると、琵琶湖を通じて、石鹼運動以来40年にわたる県民等多様な主体による活動がSDGsにつながっていることを発見する仕組みと言えます。

各プログラムには、関連する学習テーマ、SDGsゴールに加え、MLGsゴールについても明記しました。



2 世界農業遺産「琵琶湖システム」

琵琶湖に住む魚の生態を巧みに利用した「エリ漁」や「魚のゆりかご水田」、琵琶湖の環境に配慮した農業や森林保全活動など、森・川・水田と湖のつながりのことで、滋賀県で千年以上に渡り受け継がれてきた、世界的にも貴重な農林水産業の形です。

琵琶湖の湖上から滋賀県の地形を眺めると、そのつながりが理解できるため、湖上で体験するプログラムでは、琵琶湖システムについても事前に学習することをおすすめします。

ワークシート解説

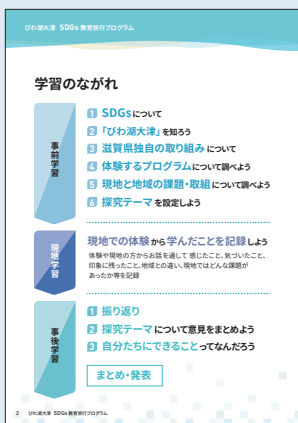
事前学習

現地学習

事後学習

導入

→ P.1-2



POINT / 本プログラムの内容とねらいについて説明します。

- 修学旅行等で訪れる滋賀県での体験学習を現地学習と位置付けている
- 現地での体験＋事前事後学習というプロセスで、SDGs探究学習を進めていく

最終的には、事前学習・現地学習を通じ、地域の課題解決のためのSDGsアクションに、自分がどう関わるかを発表する学習内容であることを確認します。

事前学習 1.2

→ P.3-4



POINT / SDGsと訪問先であるびわ湖大津(滋賀県大津市)の基本情報を掲載しています。

SDGsの情報については、御校のこれまでの学習内容や学習指導計画によって、適宜内容をご調整ください。

事前学習 3

→ P.5



POINT / 滋賀県独自の取組、琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ(MLGs)」と世界農業遺産「琵琶湖システム」の基本情報を掲載しています。

滋賀県が公開しているMLGsと琵琶湖システムの紹介ページもぜひご覧ください。

- マザーレイクゴールズ公式サイト「MLGs WEB」
<https://mlgs.shiga.jp/>



- 滋賀県 琵琶湖システム紹介ページ
<https://mlgs.shiga.jp/>



ワークシート解説

事前学習

現地学習

事後学習

事前学習 4

→ P.6

WORK ワーク

体験するプログラムについて調べよう

- 体験するプログラムを決める。
- プログラムに関連するテーマ、SDGsゴール、MLGsゴールを調べて記入する。



現地で体験するプログラムについて調べます。

修学旅行等の訪問地についての学習の一環として実施することをおすすめします。

体験できる人数等に制限があるため、事前アンケート等で、体験プログラムを調整したうえで、はじめてください。

関連するテーマ、SDGsゴール、MLGsゴールは、各プログラムの紹介資料に記載されています。

資料掲載

びわ湖大津観光協会 公式サイト

<https://otsu.or.jp/educationaltour>



事前学習 5

→ P.7

WORK ワーク

現地と地域の課題・取組について調べよう

- 関連するSDGs、MLGsのゴールから課題を考える。
- 現地（びわ湖大津）で発生している課題を考える。
- 自分の住む地域にも、似たような課題がないか考える。
- 地域課題に対する地域の取組について調べる。



現地と地域の課題と、その取組について調べます。

関連するSDGsやMLGsのゴールから、現地ではどのような課題が発生しているかの仮説を立てます。

そこで立てた仮説（発生している課題）と似たような問題・課題が、自分の住んでいる地域にも存在しないかどうかを検証します。

もし、地域に現地（びわ湖大津）で発生している課題と同じような課題があれば、その課題解決に向けた地域の取組を検証します。

事前学習 6

→ P.8

WORK ワーク

探究テーマを設定しよう

- ここまでの学習を踏まえ、興味をもったこと、関心があることをまとめる。
- 現地で聞いてみたいことを整理する。
- なぜ、関心をもったのか理由を考えてみる。
- 自分なりの探究テーマを設定する。
- 探究テーマと関連するSDGsゴールを整理する。



ここまでの学習を踏まえて、自分なりの探究テーマを設定します。

①興味をもったことの整理

②なぜ、そう思ったのかの理由の整理

探究テーマは、上記の観点で考えます。自分が「なぜ、そう思ったのか」という理由を掘り下げること、主体的な学習意欲の醸成につながります。

探究テーマは、訪問先で体験する現地学習と無関係な内容にならないように注意してください。

関連するSDGsゴールを参考にSDGsの視点で考えることが重要です

- 現地学習に関連するSDGsゴールを意識して探究テーマと関連するSDGsゴールを確認する。

▶ SDGsゴールと課題を整理する。

ワークシート解説

事前学習

現地学習

事後学習

現地学習

→ P.9

WORK ワーク

現地で体験から学んだことを記録しよう

- 体験や現地の方との対話から学んだことや気づきを記録する。
- 感じたこと、
気づいたこと、
印象に残ったこと
地域との違い
現地ではどんな課題があったか

指導POINT / 現地の体験や、現地の方との対話を通して、学んだことを記録します。

旅のしおりに本ページ(または記録)を掲載するなど、旅行中すぐに記録できるようご配慮ください。

帰着後、思い出してから記入するのではなく、現地で気づいたときに忘れないうちに記録しておくことが重要です。

児童・生徒が、どう記入したらいいかわからない場合は、現地と地域との違いに着目するようご助言ください。

事後学習 1

→ P.10

WORK ワーク

振り返り

- 現地で学んだ課題をまとめる。
- 現地課題における現地の取組についてまとめる。
- 現地の課題解決策で、地域課題の解決に参考になる点や類似点についてまとめる。

指導POINT / 現地で学んだことを振り返り、整理します。

現地で発生している課題をまとめます。

また、その課題に対して、どのような取組を実施していたかを分析し、整理します。

「現地の課題に対する現地の取組」が明確になったら、自分たちが住んでいる地域の課題解決に参考になる点や、類似点について検証します。

「事前学習5」で考えた仮説(課題)と、本ワークで検証する自身の体験や現地の方との対話を元に導き出した「実際の課題」に違いがあったのか、同じであったのかについても確認してください。

事後学習 2

→ P.11

WORK ワーク

探究テーマについて意見をまとめよう

- 探究テーマに対する意見をまとめる。
- びわ湖大津での体験から参考
にしてみたい取組
関連するSDGsゴールの課題
解決に必要な行動は何か

指導POINT / 現地学習で学んだことを参考にして、「事前学習6」で設定した探究テーマをさらに深く考察し、探究テーマに対する自分の意見をまとめます。

関連するSDGsゴールの課題解決のために必要な行動は何かを考えます。

● 選択肢が複数ある場合は最も適切なひとつを選ぶ
複数のSDGsゴール、課題があり、意見がまとまらない場合は、

- ① 自身の探究テーマに最も近いと考えるもの
- ② 自分の地域にも共通する課題
- ③ 自分自身の行動につながると考えるもの

上記の観点から、最も適切と思われるものを選ぶようご指導ください。

ワークシート解説

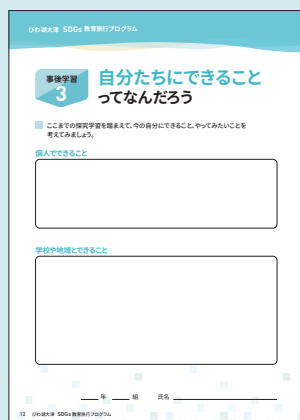
事前学習

現地学習

事後学習

事後学習 3

→ P.12



WORK ワーク

自分たちにできること ってなんだろう

- 今の自分にできること、
やってみたいことを
まとめる。

▶ 課題解決のためのSDGs アクションに自分がどう 関わるか

ポイント / ここまでの探究学習を踏まえて、今の自分に
できること、やってみたいことをまとめます。

「事後学習2 探究テーマに対する自分の意見」で考察したSDGsゴールの課題解決の行動から、現在の自分が実行できること、やってみたいと思うことを考えます。児童・生徒が、具体的なアクションを考察するうえで、テーマとの関連性や実現可能性についてもご助言をお願いします。

最終的には、事前学習・現地学習を通じ、地域の課題解決のためのSDGsアクションに自分がどう関わるかを発表します。

事前学習ワークシートについて

本プログラムで使用する「事前学習ワークシート」は、びわ湖大津観光協会の教育旅行特設サイト(<https://otsu.or.jp/educationaltour>)よりダウンロードが可能です。

PDF形式で提供しており、印刷して手書きで使用することも、パソコンやタブレット上でそのまま記述欄に入力して使用することも可能です。授業の進め方にあわせてご活用ください

その他資料

公益社団法人びわ湖大津観光協会の公式サイト「びわ湖大津トラベルガイド」内の教育旅行ホームページに、びわ湖大津SDGs教育旅行プログラムに関する資料を掲載しています。ご自由にお使いください。

● **パンフレット** びわ湖大津へのアクセス、実施場所マップ、プログラムの一覧と概要を掲載。PDFデータをダウンロードできます。

● **紹介動画** プログラムの概要を紹介する動画(1分30秒)。児童・生徒向けの導入にご利用ください。

● びわ湖大津SDGs教育旅行プログラム紹介

各プログラムの概要、体験可能人数、準備物、事前学習・現地学習・事後学習の参考例を、プログラムごとに掲載しています。パワーポイントデータをダウンロードできます。

● プログラム一覧

各プログラムの概要をWEB上でも公開しています。びわ湖大津トラベルガイド・教育旅行ホームページのトップページ「プログラム詳細はこちら >」からご覧ください。

● 教育旅行情報

びわ湖大津SDGs教育旅行プログラム以外の教育旅行情報(宿泊・見学地・観光施設情報等)もホームページに掲載しています。事前学習等で訪問地について調べる際にご活用ください。

発行・お問合せ

公益社団法人びわ湖大津観光協会

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2-3 市民文化会館内

TEL: 077-528-2772

MAIL: info@otsu.or.jp

びわ湖大津トラベルガイド
教育旅行ホームページ
<https://otsu.or.jp/educationaltour>



監修 笹谷 秀光 千葉商科大学教授／同大学サステナビリティ研究所長／博士(政策研究)／ESG／SDGsコンサルタント